

事業完了報告書（株式会社MIRISE）

事業名:	ALBUM～たった一人を大切に～
資金分配団体名:	公益財団法人信頼資本財団
実行団体名:	株式会社MIRISE
実施時期:	2021年5月～2022年2月
事業対象地域:	京都府
事業対象者:	障害者、ひとり親家庭、ニート、フリーター、個人事業主、中小企業

Version 3.2
日付: 2022年3月10日

I. 事業概要

事業実施概要	障害や難病のある人、ひとり親世帯の人、子育て中の人など就労困難な状況にいる人に対して「雇用創出」及び「就労支援」を実施した。具体的事業としては、「遊べるインテリア」というコンセプトで、ボードゲームに特化したECサイト（ネットショップ）を昨年の12月末に開所した。ECサイトが開所するまでは、開所準備を進める傍ら、企業からの業務委託案件（デザインや動画作成、webサイト作成等）に対応をしていたが、ECサイト開所後は、ECサイト運営業務を独自事業として、その運営業務を細分化し、受注作業、更新作業、デザイン作業、商品仕入、商品撮影、画像加工、検品、ピッキング、梱包、データ入力、SNSなど、数多くの業務を作り、細分化した業務と各人の障害特性に合致する部分を担当業務にしてもらい、現在はECサイト運営を中心として事業を実施している。
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>【課題設定】</p> <p>コロナウイルス感染拡大により、就労機会が不足している障害や難病のある方を中心に就労困難な状態にいる方への雇用機会創出を課題とした。求人応募に対しては、想定していた通り、又はそれ以上の連絡があった。その背景には、コロナウイルスの影響が強くあり、それにより、解雇された人や雇用時間が縮小した人、雇止めになった人、雇用機会に恵まれず、就労困難な状態にいる人からの求人応募が多く見られ、この事業期間の間で、約150名程度の見学・応募があった。</p> <p>【事業設計】</p> <p>ECサイト開所日程やPC関連機器等の備品到着に少し遅れはあったが、全体としては想定範囲内の事業活動を行うことが出来たように思う。事業コンセプトや商材選定に関しては、現場職員や関係者等と対話を重ね、方向性を定めながら準備を進め、昨年末にECサイトをオープンすることが出来た。現在は、ECサイトを運営する傍ら、実店舗（ボードゲームサロン）オープンに向けても動いている状況である。</p> <p>就労困難者の採用については、双方のミスマッチを避けるためにも、面接前に見学・体験を挟み、現場で一緒に働く体験機会を設けることにした。現在は9名の方を雇用しており、今後も、就労意欲のある方を採用していきたいと思う。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
障害者	就業困難	<ul style="list-style-type: none"> 約20名の雇用創出を行なう。 生活困窮状態からの脱却 	雇用者数	約20名の雇用創出	9名 (2022年3月現在)	5月～2月までの見学者数は約150名。雇用創出の数値は見学者数等から見れば達成すること自体は可能であるが、焦らず双方が幸せになれる採用を心掛けている。
障害者	その他	<ul style="list-style-type: none"> 生活状況や経済状況の改善 自己肯定感や就労意欲が高まる 	アンケート数	約20名のアンケート数	9名の定期面談及びアンケート調査実施	入職時の面談では生活リズムの不安や自己肯定感の低さがあったが、雇用6ヶ月後の面談では徐々に生活リズムが整うことで精神的に落ち着いてきたとの感想が出ていた。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	就労困難者の雇用創出を約20名行ない、その状態が継続されていること。そして更に、仕事を通じて人間的に成長し、自分に「自信」を付け、会社や社会で活躍することにより、「誰か」や「何か」の役に立っている事を実感出来る状態、一人ひとりが自分の「存在（生命）」に価値があると思える状態、幸せを感じられる状態になることを目標とする。
考察等	就労困難者の雇用創出20名という目標については、無理に雇用するのではなく、事業進捗や内容に応じて雇用を進めてきた。採用経路については、約8割がハローワークを通じた採用であり、それ以外にも、ネット求人媒体や関係機関等からの紹介経由で雇用に繋がっている。事業開始当初は、想定よりもECサイトの準備に時間がかかり、ECサイト運営に至るまでの業務創出に苦慮したが、ECサイトが昨年末にオープンした事に伴い、業務を細分化し、受注、商品撮影、加工、梱包、発送、SNSなど、様々な業務を作っていくことにより、そこで働く社員が自身の障害特性と合致する部分で仕事を行なっている。今後も活動を継続することで、働くことの「やりがい」や「自信」をつけて、会社や社会に「自分は役立っている」「自分の存在は価値がある」という実感を得てもらえるようにしていきたい。

V. 活動

活動	進捗	概要
事務用品や消耗品等の物品購入	ほぼ計画通り	PC作業のためのPC機材や動画作成機材を順次購入している。ネットショップ運営の備品も今後購入予定。
求人作成及び求人募集開始	計画通り	求人サイトやハローワークを活用して募集を行い、見学者が5月～1月で130名以上となっている。
求人営業・採用活動（ハローワークや特別支援学校等への訪問）	ほぼ計画通り	訪問は行っていないが、特別支援学校教諭の見学対応を行うなど、順次対応をしている。
ホームページやネットショップサイト企画・作成	ほぼ計画通り	仕入商品の選別に時間がかかったが、昨年末にショップを開店する事が出来た。
商品仕入れ（メーカー、卸事業者、ギフトショー等のイベント参加）	ほぼ計画通り	ショップの開店に向けて、仕入も順調に行えている。
商品撮影・画像加工・在庫管理・受注作業・商品梱包・出荷作業等	ほぼ計画通り	仕入商品に対して、撮影や画像加工、出荷作業等を社員の特性に応じて行っている。
企業訪問等による販路開拓営業活動（株式会社や郵便局と連携、イベント企画開催等）	ほぼ計画通り	企業訪問以外でも、見学に来られる経営者等が多く、その際に新たな企画や仕事の開拓となっている。見学者数：110名（5月～1月）
職員に業務状況や体調等のヒアリング面談	計画通り	入職後3ヶ月を始めとして定期的にヒアリング面談を行う他、従業員の希望や体調確認などで随時、面談を行っている。

職員へのアンケート調査及び面談、事業報告書作成	計画通り	面談を行う際には、アンケート等を実施しており、本人のやりがいや達成感等を確認している。
-------------------------	------	---

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	ネットショップやwebサイト構築に際して、その業務を担当予定だった職員がバイク事故により、2ヶ月以上の入院、在宅ワークとなっている状態。随時、連絡を取る事で在宅業務をしている他、今まであまりwebサイト構築の経験がなかった職員も主体的に参加する事で案件に対応できるようになっている。またコロナ禍でTVがネットショップ商材のボードゲームを取り上げるごとに、商品が売りきれの現象がおきており、ボードゲームに詳しい職員とともにSNSを活用して商品リサーチを行っている。
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	就労困難な障害や難病のある方を9名雇用し、人数分に合わせてPCやタブレット端末の購入をした。雇用した人の中には、PC経験がない人、リストラを繰り返す人、人前で話すことが苦手な人など、様々な人の働きたいという「想い」があった。同時に、働きづらさや生きづらさを抱えている「状況」もあった。事業評価手段として、入社後3~6カ月の間で、アンケートを実施。その中で、「自分に生きる価値があると少し思えるようになった。」等の意見があった。自分の都合でないにも関わらず、いつ、どこで、誰が病気や障害になるかは分からない。そのような不確かな社会や人生の中で、どのような人や会社と出会うか。どのような環境で働くか。「出会い」と「環境」によって、人は大きく変わるのだと改めて感じた。今後も活動を継続することで、病気や障害の有無に関わらず、働きたいと願う人達が、自分の存在を活かしながら、働くことの「やりがい」や「意義」を見出し、自分に「自信」をつけて、会社や社会に「自分は役立っている」「自分の存在は価値がある」という実感を得られるようにしていきたい。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
(株)ウエダ本社	就業場所の提供、企業紹介、事業連携
(株)MOTHEREARTH、(株)be	仏産のオーガニックブランド「EARTHSENSE」のホームページ作成、楽天、アマゾン、ヤフーのモールECサイト作成、SNS関連業務
郵便局	商品出荷、取引先企業紹介、ECサイト相談
ごみカフェKYOTO	生ごみを堆肥に変えるLFCコンポストの取組みを通じて、優しさが循環する社会を目指す取組みを開始。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	14,800,035	14,782,124	99.9%
	管理的経費	2,199,965	2,217,888	100.8%
合計		17,000,000	17,000,012	100.0%

補足説明	
------	--

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	2021年10月31日 Youtube「ワールドシフトチャンネル」収録 (ALBUMの取組みについて) 2021年11月30日 KBS京都ラジオ「さらびん!キョウト」収録 (ALBUMの取組みについて)
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	ロゴ・名刺・看板・パンフレット
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例)	上記名刺・看板・パンフレット
4.報告書等	人を大切にする経営学会

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	ALBUMの事業所webサイトが出来上がっていないため。3月末を予定。
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	

2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	

XII. その他

自由記述